

ふれあい情報

2026年3月23日(月) 第408号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 宇田川 浩一
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



日本退職者連合 第4回幹事会を開催

3月11日(水)、第4回幹事会を開催して、各種委員会・会議の報告、集会や取り組み報告および各ブロックからの活動報告を受け、協議事項では、第30回定期総会開催についてや、2026年度政策・制度要求(素案)等を確認しました。

また、3月11日は東日本大震災から15年目の節目であり、幹事会冒頭に、全員で黙とうをささげました。

川辺副会長あいさつ

本幹事会は、野田会長が欠席のため、川辺副会長の進行で開催しました。

東日本大震災から15年

本日は東日本大震災の発災から15年目の節目の日です。犠牲になられた方に心より哀悼の意を表し、被災された方にお見舞い申し上げます。

この東日本大震災を教訓と



川辺副会長

して、近い将来起きるといわれる南海トラフ地震や首都圏直下地震などへ、防災・減災を意識した備えの点検をしなければならぬと思っています。

アメリカによる

主権国家への侵略について

1月にはベネズエラ大統領夫妻を拉致しアメリカに連行。2月には核軍縮交渉のさなかイランに侵攻し国家元首などを殺害した。これは明らかに国際法違反です。

国際世論は、戦争反対の立場を明確にしたスペインを除けばはつきりとアメリカ批判をしています。

私たちは、平和だから安心して暮らしていられます。

国連主導のもと、アメリカ、イランへ世界各国が協調して即時停戦を働きかけるべきであります。

活動報告と協議事項提起

宇田川事務局長からの活動報告、並びに各ブロック幹事からのブロック報告を受け、意見交換を行いました。



宇田川事務局長

その後、協議事項を担当者等が提起し、質疑の後、全体で確認して、第4回幹事会を終了しました。

◎報告事項

○各種会議・専門委員会報告
 ○第51回衆議院選挙関係について(連合推薦候補者結果等)

○政策・制度要求実現2・13院内集会について
 ○2026年特別国会に向けた要請行動について

○ジェンダー平等推進のための第14回学習会について
 ○核兵器廃絶100万署名
 ○ブロックからの報告

◎連合からの報告

◎協議事項
 ○第30回定期総会開催準備
 ○2026年度政策・制度要求について

○第96回メーデー中央大会
 ○2026年全国高齢者集会実行委員会設置について

以上

ブロック報告

各ブロック幹事より、第51回衆議院選挙結果や、諸活動の報告を受けた。

北海道ブロック

①道内8地区で開催された総会報告。

②核兵器廃絶と平和な世界の実現を求める高校生一人署名活動報告(2025年11月30日)。

東北ブロック

①各県退連の活動報告。
②福島退連は連合福島ホームページ内に「県退連コーナー(バナナ)」設置を報告

新役員紹介



幹事 馬橋博一さん

(鉄道退職者の会全国連合会)

関東ブロック

①各県退連活動の報告。
②ブロック会議を5月14日に山梨で開催予定。現在準備中。

東海ブロック

①各県退連活動報告。
②各県退連の3月以降の活動予定報告。

近畿ブロック

①各県退連活動報告。
②福井県知事選について。
③石川県知事選について。
④福井退連ジェンダー平等推進委員会は労福協と共催で研修会を開催(2月5日)。

北陸ブロック

①近畿ブロック第1回幹事会開催報告(1月20日)。
②各退連での活動報告。

中国ブロック

①鳥取退連は、人権に関わ

連合報告

る各種行事に積極的参加。
②島根県連は、総会後に被団協本間代表理事が講演。
③岡山退連は、高齢者医療負担金増額に対し緊急申入れを実施。

四国ブロック

①各県退連活動報告。
②高知退連は、ジェンダー平等推進情報交流会を初めて実施(2月5日)。今後も継続を意思統一した。

九州ブロック

①九州ブロック会議を3月16日に佐賀市内で開催。
②各県退連活動報告。

厚生労働省へ政策・制度要求



青山総括審議官(左)と野田会長

退職者連合は、2月18日に、2026年特別国会に向けた政策・制度要求行動のトップを切って、厚生労働省青山総括審議官へ要求書を手交し、主旨説明を行いました。

初めに野田会長が「昨年夏の要請では真摯に対応していただいた。本年も協力をいただきたい。」とあいさつしました。

続いて、政策担当岩崎副事務局長より、重点3項目の負担増の抑制を要請し、その後意見交換を行いました。

《重点3項目》

1. 高齢者医療制度の自己負担区分について
2. 介護保険の利用者負担区分について
3. 介護保険部会で議論されたこと

(*ケアマネジメントの利用者負担について)

青山総括審議官からは、「3点は重要な意見で避けられない論点と痛感している。意見は重く受け止めたい。丁寧に、丁寧に説明して進めていく。」等の発言がありました。

◇中東情勢について

即時停戦と早期の事態收拾を強く求める談話を発出した。

連合はITUCCとともに和平の実現を求め行動する。
◇労働基準法改正関係
現在労政審で、労働時間規制について論議されている。

時間外上限規制緩和などに反対をしていく。

◇第51回衆議院選挙総括
方向性等について、関係部門で検討中なので、改めて幹事会等で報告していく。

ジェンダー平等推進のための第14回学習会を開催

「女性の政治参画」について

参議院議員・辻元 清美さんが講演

3月4日(水) 13時30分から、連合会館2階大会議室において、「ジェンダー平等のための第14回学習会」を開催しました。
 講師には、立憲民主党参議院議員・辻元清美さんをお招きして「女性の政治参画」をテーマに講演をいただきました。
 今回もWEB併用で開催し、会場とWEBで全国から約300名の会員が参加しました。



学習会会場・約150名が参加



ジェンダー平等委員会
川辺委員長

学習会は、退職者連合・高橋副事務局長の司会で始まりました。
 初めに、ジェンダー平等委員会を代表して川辺委員長があいさつし「昨年、日本で初めて女性総理大臣が誕生したことは、ジェンダー平等の立場からは喜ばしいことでしたが、高市総理のその後

の言動は、ジェンダー平等を求める多くの国民世論からは逆行し、選択的夫婦別姓制度の導入に向け厳しい状況になりました。

社会の多様化が進む中であらゆる場面でジェンダーに関する固定観念を見直し、より柔軟で包摂的な社会を作るのが求められています。

また、国連の女性差別撤廃委員会は、選択的夫婦別姓制度、男系男子のみの皇位継承を認める皇室典範の改正、賃金のジェンダー差別、政治分野における女性議員の割合

の低さなど、様々な課題を指摘しています。

産別・地方退連の皆さん、一丸となってジェンダー平等推進の取り組みを強化していきましょう。」と述べました。



島山局長

続いて、連合総合政策推進局・島山局長があいさつし、「現役的女性役員も増えている。役員数を30%、そして50%を目標に取り組んでいく。選択的夫婦別姓制度の導入を求める取り組みでは、署名活動で63万筆を集約し国会に提出した。残念ながら、通常国会では法案が成立せず、先般の衆議院解散により廃案になった。今後、現政権下で成立を目指すにはかなり厳しい状況であるとは認識しているが、連合のスタンスは何ら変わりなく、早期成立を求めるところにこだわる。引き続き皆様とともにこの制度の導入に向けて取り組んでいく。課題はたくさんあるが、参集の皆様がジェンダー平等を推進していただいていると思いき、勇気と元気をいただいた。共に頑張りましょう。」と述べられました。



島山副委員長

次に、ジェンダー平等委員会・島山副委員長から、①ジェンダー平等委員会の取り組み、②連合の取り組み、③審議会等での論議状況について、報告を行いました。



女性の現状を共有 政治参画推進で ジェンダー平等の 社会実現へ

辻元参議院議員は、「第51回衆議院選挙は、突然の解散でしたが、全国各地で私たちの仲間にご支援をいただき、感謝申し上げます。参議院での立憲民主党は、来年の統一地方選挙について、水岡新代表のもと、中道改革連合とも協力しながら、立憲民主党の旗の下で戦っていく。参議院では31の委員会のうち15の委員会で委員長を野党がとっている。憲法審査会や外交防衛委員会、文教科学委員会も野党であり、これからも頑張っていく。」とあいさつし、講演が始まりました。

講演では①諸外国の国会議員に占める女性割合の推移、②日本の女性の政治分野への参画状況と課題、③女性議員を増やすだけでなく、継続することの難しさ、などについて、ご自身の経験やこれまでの活動とともに話をされました。

また、企業や科学・学術など政治分野以外での女性の参画推進の現状、生活時間の国際比較などについても説明していただきました。

最後に、ジェンダー平等社会の実現に向けて、「頑張っていきましょう」と呼びかけられ、講演を終了しました。

特に「第6次男女共同参画基本計画にあたっての議論経過や、旧姓使用が法制化されても懸念される課題等について、具体的な例をだして説明し、課題を共有しました。」
続いて、講演に入り、立憲民主党・辻元清美参議院議員より、「女性の政治参画」をテ

ーマに講演をいただき、会場とWEB参加者から、多くの質問があり、辻元議員に丁寧に応えて頂きました。
講演後、会場とWEB参加者で意見交換を行い、ジェンダー平等の社会実現に向けた第14回学習会を終了しました。

～春季生活闘争～

「連合全国アクション 2.28 中央集会・アクションデモ」に参加

2月28日、都内・青山公園南地区において、中央集会が開催され、全体で1055名、退職者連合からは30名が参加しました。

集会では、「こだわろう！ 暮らしの向上・ひろげよう！ 仲間の輪」を合言葉に、回答引き出しに向けた決意を新たにしました。

主催者あいさつや共闘連絡会議代表者の決意表明等が行われ、アピールを採択し、最後に代々木公園までデモ行進しました。



核兵器は いらぬ。
核兵器廃絶 1000万署名
No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More HIBAKUSHAI!
連合 原水禁 KAKKIN



オンライン署名は、連合本部ホームページの「オンライン署名特設サイト」を活用して署名します。
また、QRコードからも「オンライン署名特設サイト」に誘導されます。
左のQRコードを使って核兵器廃絶に向けた取り組みに参加してください。